**令和7年度**

**社会福祉法人会計実務通信講座**

【8月度課題】

支払資金関係取引の仕訳（応用）と転記

6桁精算表の作成

8月は先月に引き続き支払資金の取引について学び、計算書類作成の一歩手前である試算表と精算表に挑戦しました。これで日常取引のほぼ9割を占める、支払資金の取引のみ発生した場合の簿記一巡をマスターすることになります。課題では、仕訳から転記、試算表及び精算表作成までを出題しています。頑張ってチャレンジしてみて下さい。

なお、当テキストの試算表と精算表は一般的なフォーマットではありませんが、貸借対照表と資金収支計算書、事業活動計算書の三表間の関係を体系的に理解していただけるため、しっかりマスターしてください。

テキスト該当範囲　pp.76－97

解答上の注意

解答用紙の1枚目に学籍番号・氏名、2枚目以降は学籍番号を必ず記載してください。

**問題１**

次の文章の空欄にあてはまる適切な語句を、下に示す語群の中から選んで答えなさい。

同じ語句が複数の空欄に入る場合があります。

（１）　4月に発生した介護保険報酬が翌月に入金予定である。これについては、4月30日付で未収に計上する。収益は（　ア　）時点で計上するのが会計の基本である。

（２）　職員の源泉所得税など、職員に関する一時的な預り金は（　イ　）勘定で処理する。

（３）　長期運営資金借入金のうち、1年以内返済予定分については（　ウ　）時に流動負債に振り替える。これは支払資金の減少に（　エ　）。

（４）　「事業未収金が預金に振り込まれた」という取引において、支払資金および純資産の額は（　オ　）。事業収益が発生した場合は、支払資金および純資産の額は（　カ　）。

（５）　支払資金残高も純資産残高も（　キ　）ということは、二つのフローの計算書のいずれにも出てこないということである。

（６）　（　ク　）は、利用者の処遇に直接要する費用を計上する。（　ケ　）は、人件費及び（　ク　）以外の、運営事務に要する費用を計上する。

（７）　職員に対して研修費用を概算仮払い（仮払金／現金預金）した際、支払資金は（　コ　）。

借入　　　　事務費　　　　発生　　　　その他の未払金

決算　　　　事業費　　　　入金　　　　職員預り金　　　引き継ぐ

増減しない　　　増加する　　　　減少する　　　該当する　　　　該当しない

**問題２**

次の2024年4月中の取引について仕訳をし、解答用紙の総勘定元帳に転記して、締め切りなさい。また転記した総勘定元帳を元に、解答用紙の試算表、精算表を作成しなさい。なお解答用紙の総勘定元帳で使用している勘定科目により仕訳をすること。転記の際に相手科目が複数になるときは「諸口」を使用すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　（単位省略）

|  |  |
| --- | --- |
| 1日 | 未収計上していた前月分の保育事業に係る委託費 9 0 0 につき口座振込を受けた。 |
| 5日 | 業務委託費 2 5 を現金で支払った。 |
| 7日 | 普通預金に3 0が振り込まれてきたが、内容が不明確だった。 |
| 10日 | 前月の、給与支払時に天引きした源泉税 1 5 を現金で納付した。 |
| 12日 | 設備資金借入金 5 0 を返済し、あわせて借入金利息 5 を預金から支払った。 |
| 15日 | ガス代 2 0 が預金から自動引落としされた。 |
| 15日 | 当月分の保育事業に係る利用者負担金 7 0 を現金で受け入れた（未収計上していない）。 |
| 18日 | 食材 1 6 0 を掛けで買い入れた。 |
| 20日 | 送迎用バスを購入することとし、内金として小切手を振り出して 2 0 0 を支払った。引渡しを受けるのは、翌月の予定である。 |
| 25日 | 当月分職員給料 2 3 0 から、源泉所得税等 2 0 を差し引き、現金で支給した。 |
| 25日 | 未払計上していた前月分食材代金 1 5 0 につき小切手を振り出して支払った。 |
| 28日 | 児童用絵本、積み木等 1 2 0 を現金で購入した。 |
| 30日 | 当月発生した保育事業に係る委託費 9 2 0 を未収に計上した。 |
| 30日 | 7日の普通預金への振り込みは、児童の家族の方からの経常経費に対する寄附であることが判明した。 |
| 30日 | 社会保険料 2 0（うち従業員の本人負担分1 0 ）を現金で納付した。 |

以上、問題はここまでになります